

# エコアクション21

## 環境経営レポート

2023年度版

運用期間 2023年4月～2024年3月

発行日 2024年4月9日



〒252-0807 神奈川県藤沢市下土棚1786番地

TEL 0466-43-3211 FAX 0466-45-3589

E-mail [info@moriyama-kk.com](mailto:info@moriyama-kk.com)

# 森山建設株式会社

# 目 次

	項目	頁
1	組織の概要 .....	1 2 3
2	対象範囲 .....	3
3	環境経営方針 .....	4
4	環境経営目標 .....	5
5	環境経営計画とその評価 .....	6 7
6	環境経営計画実施体制表 .....	8
7	環境経営目標、環境経営計画の実績・取組結果と その評価及び次年度の環境経営目標・環境経営計画 ..	9 10
8	年度別集計表 .....	11
9	年度別集計グラフ .....	12
10	環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無 .....	13
11	代表者による全体評価と見直し・指示 .....	13

## 1、組織の概要

1) 事業所及び代表者氏名

森山建設株式会社

代表取締役 小玉 徹

2) 所在地

神奈川県藤沢市下土棚1786番地

3) 環境管理者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 小玉 聡

エコアクション21事務局 山本 康子 0466-43-3211

4) 設立年月日

1971年10月21日

5) 資本金

2,000万円

6) 事業規模(2023年度)

工事等の件数 47 件

売上高 457,919千円/年

従業員数 9 人

床面積 120.45㎡

資機材置場面積 394.3㎡

7) 事業活動

土木工事、建築工事、舗装工事、水道施設工事、管工事

8) 一般建設業の許可

神奈川県知事 許可 (般 - 1) 第12714号

許可の有効期間 2019年7月1日～2024年6月30日

管工事業 造園工事業

9) 特定建設業の許可

神奈川県知事 許可 (特 - 1) 第12714号

許可の有効期間 2019年7月1日～2024年6月30日

土木工事業	とび・土木工事業	石工事業	
鋼構造物工事業	ほ装工事業	塗装工事業	
しゅんせつ工事業	水道施設工事業	建築工事業	防水工事業

10) JIS Q 9001:2015 / ISO9001:2015 認証登録

登録日 2001年11月22日

更新日 2021年11月22日

有効期限 2024年11月21日

11) 国土交通省関東地方整備局  
災害時の基礎的事業継続力認定(BCP)

認定番号 Ktr13\_\_049

登録日 2013年10月1日

認定期間 2023年10月1日 ~ 2026年9月30日

12) 宅地建物取引業者

免許認証番号 神奈川県知事(4)第25652号

有効期間 令和2年8月6日～令和7年8月5日

13) 産業廃棄物収集運搬許可

神奈川県指令 湘セ第319号-186

許可番号 1403023565

有効期間 2025年10月31日

14) 給水装置工事事業者指定業者

指定年月日 2000年5月10日

指定番号 第1333号

## 15) 排水設備指定工事店

藤沢市	指定番号	第231号
綾瀬市	指定番号	第101号
海老名市	指定番号	第95号
茅ヶ崎市	指定番号	第154号
大和市	指定番号	第169号
横浜市	指定番号	第11281号
鎌倉市	指定番号	第96号
寒川町	指定番号	第58号

## 2、対象範囲

### 1) 事業活動

土木工事、建築工事、舗装工事、水道施設工事、管工事

### 2) 対象事業所

本社

### 3、環境経営方針

#### [ 理 念 ]

当社は、事業活動が環境に大きな影響を与えていることを真摯に受け止め、従業員一人一人が環境の保全と維持、改善に積極的に取り組みます。また、環境創造に資する工法推進、リサイクル、提案に努め、より環境負荷の少ない事業活動を推進します。

#### [ 方 針 ]

1) 事業活動としての建設業業務に於いて、環境に与える影響を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、管理プログラムを設定しこれを実行すると共に定期的に見直しを行い、環境汚染防止及び環境保全活動の継続的改善・向上を図ります。

2) 環境保全に関する法規制及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。

3) 保全活動を推進するため、全ての組織及び従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

4) 印刷物の多量化を抑制するため、電子データ化への移行を促進します。

5) 電力使用量削減のため、空調機の温度管理を徹底します。

6) 事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進します。

##### 環境保全活動

営業活動における車両の保守点検作業の励行と安全運行の遵守に努め、ガソリン使用量及び軽油使用量の削減に努めます。

##### 水使用量の低減

オフィスで使用する水使用量の削減に努めます。

事務用品等のグリーン購入を積極的に行います。

お客様に工期短縮工法等の環境配慮活動を提案します。

建設リサイクル率向上に努めます。

7) 環境教育を実施し、全社員が環境方針の遂行に当たり環境に関する意識向上を図ると共に、取引先へも環境基本方針を周知し、理解と協力を要請します。

制定日 2011年1月10日

改定日 2021年4月 5日

森山建設株式会社  
代表取締役 小玉 徹

## 4、環境経営目標

目的		基準年	目 標		
			2023年度	2024年度	2027年度
		2016年度値参考	'23年4月～'24年3月	'24年4月～'25年3月	'27年4月～'28年3月
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量削減	48272 kg-CO2	45202 kg-CO2	44968 kg-CO2	44486 kg-CO2
	事務所	16940 kWh	15923 kWh	15923 kWh	15754 kWh
	電気使用量削減	7742 kg-CO2	7277 kg-CO2	7277 kg-CO2	7200 kg-CO2
		-	6%削減	6%削減	7%削減
	事務所	7137	6708	6637	6566
	ガソリン使用量削減	16558 kg-CO2	15563 kg-CO2	15398 kg-CO2	15233 kg-CO2
		-	6%削減	7%削減	8%削減
	現場	3000	2820	2790	2760
	ガソリン使用量削減	6960 kg-CO2	6542 kg-CO2	6473 kg-CO2	6403 kg-CO2
		-	6%削減	7%削減	8%削減
	現場	6594	6132	6132	6066
	軽油使用量削減	17013 kg-CO2	15821 kg-CO2	15821 kg-CO2	15650 kg-CO2
-		7%削減	7%削減	8%削減	
排水量	事務所	96 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup>
	水使用量削減	-	2016年度目標値	2016年度目標値	2016年度目標値
		現場	167 m <sup>3</sup>	158 m <sup>3</sup>	157 m <sup>3</sup>
	水使用量削減	-	5%削減	6%削減	10%削減
一般廃棄物削減		0.3184 t	0.309 t	0.309 t	0.305 t
廃棄物	建設リサイクル率向上 (産業廃棄物削減)	-	3%削減	3%削減	4%削減
		3314 t	3082 t	3082 t	3048 t
	-	7%削減	7%削減	8%削減	
グリーン購入					
エコマーク文具等の 購入量増加		製品数23点	現状維持	現状維持	現状維持
製品及びサービスに関する項目					
工期短縮による 環境負荷の削減		設定工期の3%	設定工期の 5%短縮	設定工期の 5%短縮	設定工期の 5%短縮
教育					
環境に配慮した業務		教育の充実	教育の徹底	教育の徹底	教育の徹底

購入電力の排出係数(2022年度係数0.457kg-CO2/kWh)を使用しています。  
化学物質については、使用しておりません。

## 5、環境経営計画とその評価

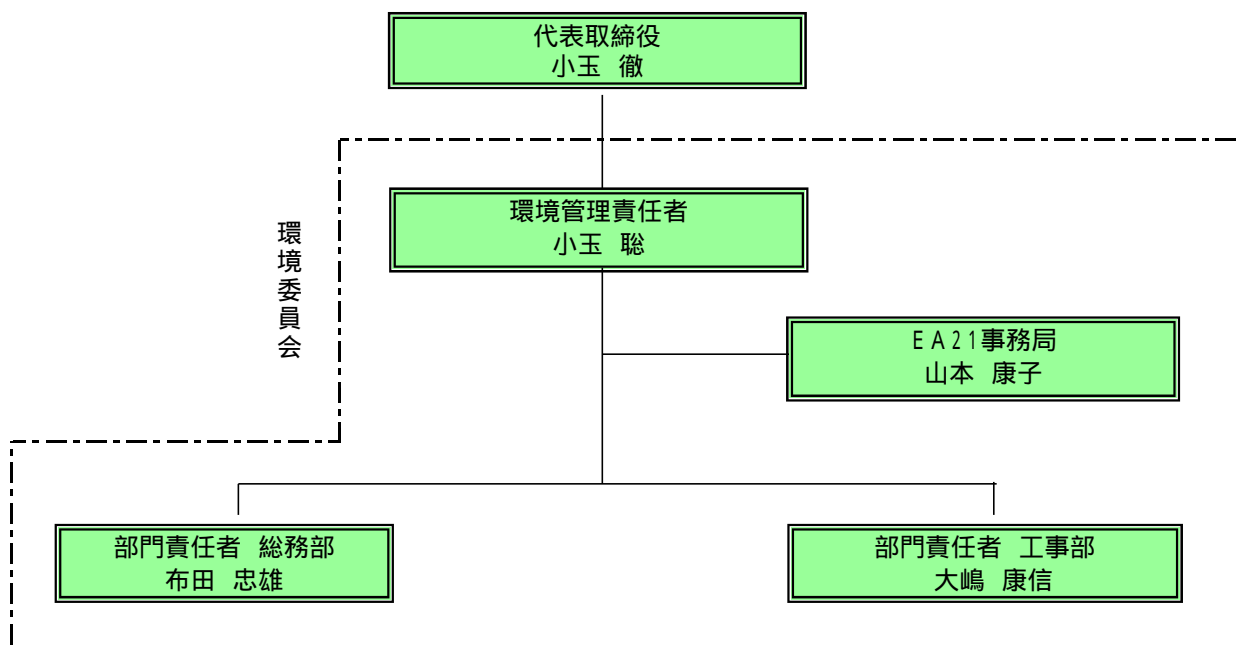
評価 : 達成 x:未達 →:計画 :実績

No.	年度目標	施策	責任者	2023年度											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	二酸化炭素削減 (電力の削減) 対2016年比6%削減 15923kWh 15874kWh	・空調の温度管理 ・不使用機器の主電源管理 ・パソコン等の省エネモード設定 計画電力量(kWh) 同累計(kWh) 実績電力量(kWh) 同累計(kWh)	山本												
				1200	1000	1100	1200	1400	1500	1200	1200	1500	1600	1600	1423
				1200	2200	3300	4500	5900	7400	8600	9800	11300	12900	14500	15923
				1166	999	1058	1602	1435	1624	1102	1107	1367	1535	1418	1461
				1166	2165	3223	4825	6260	7884	8986	10093	11460	12995	14413	15874
評価	○		○	x	x	x		○	○	○	○	x			
2	二酸化炭素削減 (事務所ガソリン使用量の削減) 対2016年比6%削減 6708 6686.1	・積載物の見直し ・タイヤ空気圧の適正管理 計画量( ) 同累計( ) 実績量( ) 同累計( )	小玉												
				600	400	500	600	600	600	608	600	600	500	600	500
				600	1000	1500	2100	2700	3300	3908	4508	5108	5608	6208	6708
				539.1	459.4	543.1	519.4	661.8	646.3	559	493	637.6	452.8	521.4	653.2
				539.1	998.5	1541.6	2061	2722.8	3369.1	3928.1	4421.1	5058.7	5511.5	6032.9	6686.1
評価	○	x	x	○	x	x	○	○	x	○	○	x			
3	二酸化炭素削減 (現場ガソリン使用量の削減) 対2016年比6%削減 2820 1960.91	・アイドリングストップの徹底 ・乗り合いの実施 計画量( ) 同累計( ) 実績量( ) 同累計( )	小玉												
				250	200	200	250	200	200	250	250	250	270	250	250
				250	450	650	900	1100	1300	1550	1800	2050	2320	2570	2820
				101.9	185.6	171.9	267.2	136.93	120.45	155.19	119.6	245	116.53	170.05	170.56
				101.9	287.5	459.4	726.6	863.53	983.98	1139.17	1258.77	1503.77	1620.3	1790.35	1960.91
評価	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○					
4	二酸化炭素削減 (軽油使用量の削減) 対2016年比7%削減 6132 2794.25	・最適機械の選定 ・日々の車両点検実施 計画量( ) 同累計( ) 実績量( ) 同累計( )	小玉												
				250	400	550	550	550	500	550	550	534	600	600	498
				250	650	1200	1750	2300	2800	3350	3900	4434	5034	5634	6132
				135	269.15	412.36	395.9	68	144.14	215.5	168.5	340.14	161	131.2	353.36
				135	404.15	816.51	1212.41	1280.41	1424.55	1640.05	1808.55	2148.69	2309.69	2440.89	2794.25
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
5	水の使用量削減 最低使用量維持 96m³ 96m³	・流し続けの防止 計画量(m³) 同累計(m³) 実績量(m³) 同累計(m³)	山本												
					16		16		16		16		16		16
				0	16	16	32	32	48	48	64	64	80	80	96
					16		16		16		16		16		16
				0	16	16	32	32	48	48	64	64	80	80	96
評価															
6	水の使用量削減 対2016年比5%削減 158m³ 103m³	・器具等の保守点検実施 ・水タンクの使用 計画量(m³) 同累計(m³) 実績量(m³) 同累計(m³)	山本												
					25		26		28		28		26		25
				0	25	25	51	51	79	79	107	107	133	133	158
					7		18		14		26		22		16
				0	7	7	25	25	39	39	65	65	87	87	103
評価		○		○		○		○		○					





## 6、環境経営計画実施体制表



役 職	責任および権限
代表取締役	1. 経営における課題とチャンスの明確化 2. 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 3. 環境管理責任者の任命 4. 環境経営方針の制定 5. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 6. 社内情報の外部公開可否決定 7. 環境経営レポート承認
環境管理責任者	1. 環境経営レポート作成 2. 代表取締役への環境経営システムの実施状況報告 3. 諮問機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 5. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施 6. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 7. 環境関連文書及び記録の作成・整理
部門責任者	1. 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応
環境委員会	1. 四半期毎開催 2. 情報の提供

(回覧ルート)

社長 部門責任者、環境管理責任者

## 7、環境経営目標、環境経営計画の実績・取組結果とその評価及び次年度の環境経営目標・環境経営計画

環境経営目標 取組項目	取組結果とその評価(2023年4月～2024年3月)			
	環境目標	実績	達成区分	評価
				次年度の環境経営目標
1.二酸化炭素排出量削減	45202 kg-CO2	34524 kg-CO2	-	下記項目毎に記載
2.電力使用量削減  空調の温度管理 不使用機器の主電源管理 パソコン等省エネモード設定	6%削減  15923kWh	15874kWh		・休憩時及び外出等によるパソコン未使用時のシャットダウンを徹底できた結果、削減に繋がった。 ・空調のこまめな温度調節を行い電力消費の削減を行う。
3.車両燃料使用量 (事務所ガソリン)  積載物の見直し タイヤ空気圧の適正管理	6%削減  6708	6686.1		・定期的なタイヤ空気圧の確認及び点検により目標を達成できた。 ・必要なもの以外は積まないように車内の日々整理整頓を行い、燃費の向上に努める。
4.車両燃料使用量 (現場ガソリン)  アイドリングストップの徹底 乗り合いの実施	6%削減  2820	1960.91		・不要な車両を現場に持ち込まないようにした結果、抑制することができた。 ・施工前の段取りを確認し、無駄な車輛運行を削減する。
5.車両燃料使用量 (軽油)  最適機械の選定 日々の車両点検実施	7%削減  6132	2794.25	○	・最適機械を事前に検討し、配置する事により、削減する事ができた。 ・継続的に施工規模に見合った機械を検討し配置する。
6.水資源投入量削減 (事務所) 流し続けの防止	現状維持  96m <sup>3</sup>	96m <sup>3</sup>		・年間を通じて最低使用量を維持する事ができた。 ・現活動の継続及び器具の定期的な点検を行い、漏水を防止する。
7.水資源投入量削減 (現場) 器具等の保守点検実施 水タンクの使用	5%削減  158m <sup>3</sup>	103m <sup>3</sup>		・ホースのジョイント部を確実に固定し、漏水を防止した。 ・養生を確実にを行い、清掃範囲を少なくする。

環境目標	取組結果とその評価(2023年4月～2024年3月)			
	取組項目	環境目標	実績	達成区分
8.一般廃棄物削減 社内文書の抑制、データ化	3%削減 0.309t	0.274t		<ul style="list-style-type: none"> <li>社内ネットワークを活用し、文書のデータ化を行った。</li> <li>データ化できる書類の洗い出しを行い、更なる削減に努める。</li> </ul>
9.建設リサイクル率向上 (産業廃棄物削減) 資材過剰納入の抑制	7%削減 3082t	1999.41t		<ul style="list-style-type: none"> <li>資材は都度必要量のみを納入し余剰資材の納入を行わないことにより廃棄物の削減に繋がった。</li> <li>現場の整理整頓を行い、資機材毎劣化しないよう保管する。</li> </ul>
10.グリーン購入推進 グリーン購入の周知 現状把握 積極的なグリーン購入 購入件数の増加	購入製品数 1点増加	購入製品数 1点増加		<ul style="list-style-type: none"> <li>現状購入製品数に加え、文具を1点グリーン購入へ移行した。</li> <li>同様にグリーン購入知識を深め、現状の継続を目標とする。</li> </ul>
11.工期短縮 最適機械の選定 工程計画 人員配置計画	設定工期 5%短縮	5%短縮		<ul style="list-style-type: none"> <li>最適機械及び台数を選定し、実施したことにより、工期短縮・トータルコストの削減に繋がった。</li> <li>施工前検討会を開催し、工期短縮方法等について定期的に検討する。</li> </ul>
12.教育活動 各テーマに関する訓練実施 月例会議での周知徹底 計画に対する実施状況評価	教育の徹底	教育の徹底		<ul style="list-style-type: none"> <li>月例会議にて取組報告を行い、全社員でエコに対する意識を高めた。</li> <li>引き続き月例会議で教育訓練を継続していく。</li> </ul>

## 8、年度別集計表

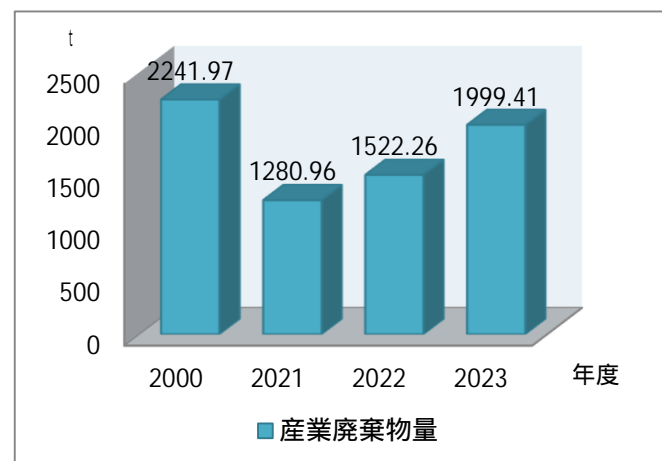
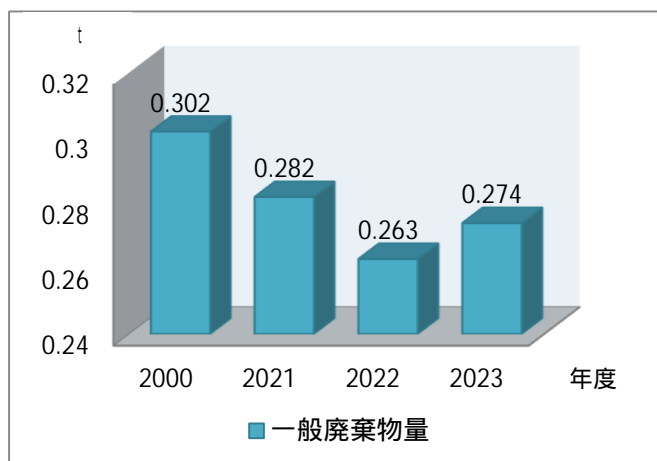
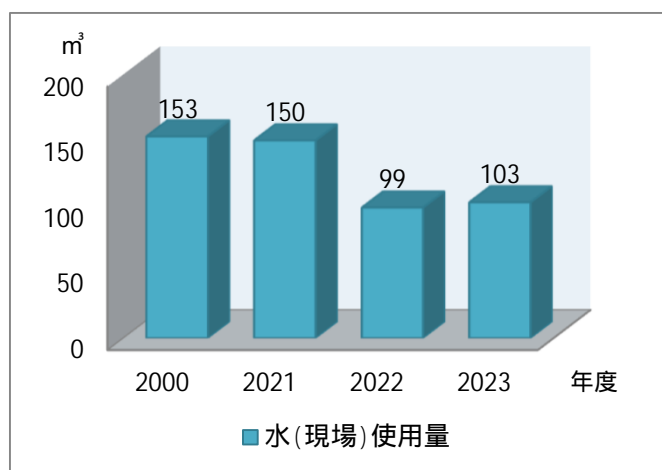
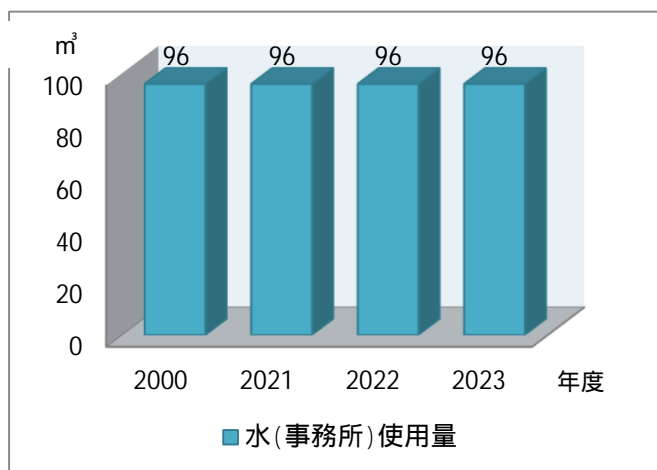
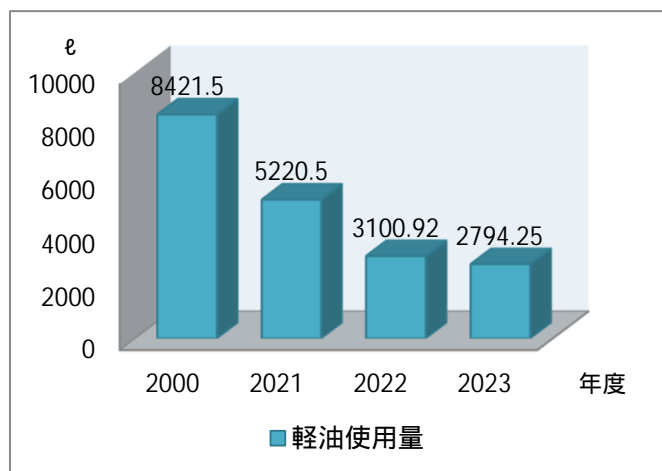
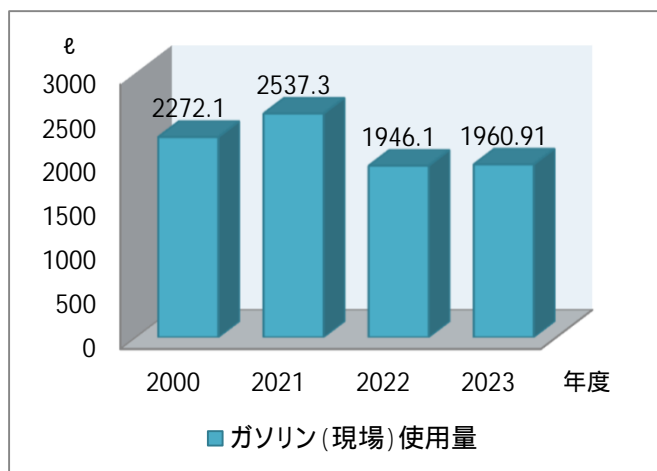
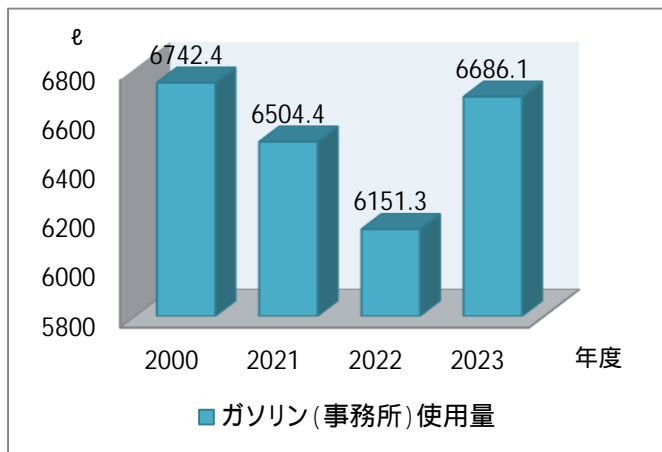
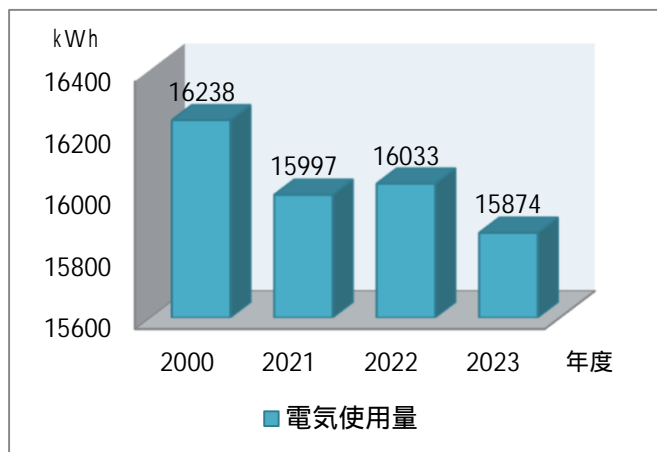
目的		年度別集計			
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		'20年4月～'21年3月	'21年4月～'22年3月	'22年4月～'23年3月	'23年4月～'24年3月
二酸化炭素排出量	事務所	16238 kWh	15997 kWh	16033 kWh	15874 kWh
	電気使用量削減	7421 kg-CO <sub>2</sub>	7311 kg-CO <sub>2</sub>	7327 kg-CO <sub>2</sub>	7254 kg-CO <sub>2</sub>
	事務所	6742.4	6504.4	6151.3	6686.1
	ガソリン使用量削減	15642 kg-CO <sub>2</sub>	15090 kg-CO <sub>2</sub>	14271 kg-CO <sub>2</sub>	15512 kg-CO <sub>2</sub>
	現場	2272.1	2537.3	1946.1	1960.91
	ガソリン使用量削減	5271 kg-CO <sub>2</sub>	5887 kg-CO <sub>2</sub>	4515 kg-CO <sub>2</sub>	4549 kg-CO <sub>2</sub>
	現場	8421.5	5220.5	3100.9	2794.25
	軽油使用量削減	21727 kg-CO <sub>2</sub>	13469 kg-CO <sub>2</sub>	8000.4 kg-CO <sub>2</sub>	7209.2 kg-CO <sub>2</sub>
排水量	事務所	96 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup>
	水使用量削減	最低使用量	最低使用量	最低使用量	最低使用量
	現場	153 m <sup>3</sup>	150 m <sup>3</sup>	99 m <sup>3</sup>	103 m <sup>3</sup>
	水使用量削減	2016年度-8.3%	2016年度-10.1%	2016年度-40.7%	2016年度-38.3%
廃棄物	一般廃棄物削減	0.302 t	0.282 t	0.263 t	0.274 t
		2016年度-6.5%	2016年度-11.4%	2016年度-17.4%	2016年度-13.9%
	建設リサイクル率向上 (産業廃棄物削減)	2241.97 t	1280.96 t	1522.26 t	1999.41 t
		2016年度-32.3%	2016年度-61.3%	2016年度-54.1%	2016年度-60.0%
グリーン購入					
エコマーク文具等の 購入量増加	24+1点	24+1点	24+1点	24+1点	
製品及びサービスに関する項目					
工期短縮による 環境負荷の削減	-5%	-5%	-5%	-5%	

購入電力の排出係数は、下記数値にて算定しております。

購入先:東京電力エナジーパートナー(株)

2022年度 = 0.457kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## 9、年度別集計グラフ



## 10、環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

主な法令名	廃棄物処理法、建設リサイクル法、Nox・PM法 自動車リサイクル法、フロン排出抑制法
内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認及び評価結果 法律違反の有無	2024年4月2日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに遵守状況のチェック結果、取り決められたことが確実に守られていました。 また、違反はありません。
訴訟の有無	なし

## 11、代表者による全体評価と見直し・指示

見直し対象期間	2023年4月1日～2024年3月31日
見直し実施日	2024年4月8日
出席者	代表取締役社長、環境管理責任者、EA21事務局

前回指示への取組結果	
前回指示内容	電力使用量の削減
不使用機器の主電源管理や、エアコンの温度管理に注視し目標を達成する事ができた。	

変更の必要性の判断		
環境経営方針	変更の要否	:必要無し
環境経営目標	変更の要否	:必要無し
環境経営計画	変更の要否	:必要無し
実施体制	変更の要否	:必要無し

総 評
総評としては、環境活動計画についての目標をすべて達成しており、引き続き本活動が順調に取り組まれていると評価する。特に軽油の使用量は年々削減できており、エコ活動が繁栄された結果であると評価する。今後については、エコに対する社員個々の意識向上のためにも、発言ができる場を増やし継続して活動する事が重要である。

次回への取組指示
目標値は達成しているものの、事務所のガソリン使用量が増加傾向にあるため、次年度は本年度より使用量を削減できる様に取り組む。